

素敵な夢の叶え方

SAKURA MARIA

咲夢 まりあ

私には憧れたけれど、なれなかつた職業がたくさんある。具体的に努力したが叶わなかつたのもあれば、厳しい現実に気付き目指すことすらしなかつたものも多い。

私はCAになりたかった。私の時代の呼称は「スチュワーデス」だったのだが。158cmの微妙な身長。英語も自信はない。そもそも私なんかがなれるハズがなからう、と考えあつさりあきらめ目指すこともしなかつた。ところが。

マナー研修講師として、戦闘服である黒のスーツを着て髪をそれこそCAさんみたいにして搭乗していたある日のこと。座席によつては、CAが対面席に座ることがあるが(いわゆるお見合い席)、私のななめ前に座つた綺麗なCAさんが何となくソワソワしている(ように見えた)。同僚のCAさんもチラッと私を見る。

なんで?

「航空会社の抜き打ちチェックの試験官」と思つてゐたことがあとで分かつた。エコノミークラスにしか乗れないただの乗客なのに、本物のCAさんから、CAをチェックする人に見えたのだ!マナー研修講師仲間にも「元CAです」という人がたくさんいるが、中には「ホンマに元CAなの?」と思わせる人も多い。それより、CAじゃないのに、CAみたいに見えるほうが素敵じゃない?!

さらに!実は空港の売店で、勝手に従業員割引されたことも2度ある。「JALの方ですよね」って勝手に言つて勝手に割り引かれた。相手が勝手に「元CAっぽいな」と考えるなら、と思われたらもうなつたようなもんじゃない?そういうことにしておこうっと。ちょっと、嬉しい。

こんな夢の叶え方もあるのだ、と思う。